



仲間をつなぐ思いやりの心

～ 温もりに満ちた学校へ～

校長室だより 10月号
2025. 10. 15
＜不撓不屈の芦中生＞
・思いやりと温かな心
・言葉で伝え心で聴く
・自ら主体的に行動

真の「よい運動会」に するために

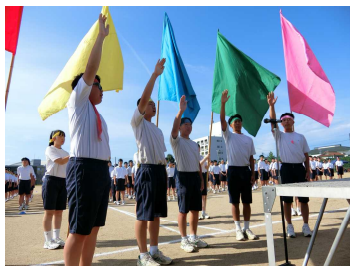
運動会が終わりました。前日の雨模様から一変、秋晴れの素晴らしい天気となり、絶好のコンディションで開催された運動会でした。みなさん各自が高い意識で臨んだことで、目標に向かって一生懸命に頑張る



ことの素晴らしさ、格好良さを理解することができたと思います。

また、勝負における勝ち負けの結果だけではない達成感や充実感を実感したと思います。この運動会を通して、人としてひと回りもふた回りも成長できた人もいたのではないのでしょうか。

運動会での成長は、当日の頑張りだけでできるものではありません。団リーダーだけでなく、みなさんそれぞれが、練習や準備の時から、「苦勞」「葛藤」「不安」「迷い」など、様々な感情を抱いた場面があったのではないかと思います。それらをいろいろな方法で対処し、乗り越えて迎えた運動会だったからこそ、多くのみなさんを成長させた運動会になったのだと私は思います。



ただ、真の意味で「よい運動会だった」と言えるようにするには、運動会が終わっ

た「これから」が大切です。「行事だけは頑張れるが、毎日の学校生活の取り組みは頑張れない」では、運動会で何も学んでいないことになります。相手を思いやること、支え合うこと、認め合うこと。これらを当たり前にする学校にしましょう。みなさんはもうできるはずです。文化祭も期待しています。

日本人がノーベル賞を 受賞しました！

今年のノーベル賞受賞者が発表され、大阪大学特任教授 坂口志文氏がノーベル生理学・医学賞を、京都大学特別教授 北川進氏がノーベル化学賞を受賞しました。



坂口志文 氏



北川 進 氏

受賞後のインタビューで、北川氏が「今の子どもたちへ」と言って語った言葉を

紹介します。参考にしてほしい言葉です。「ルイ・パスツールが『幸運は準備された心にのみ宿る』という名言を残しています。私の今の流れをみたときに、いい先生、友達、学会での付き合いに恵まれた。それは準備された心なんです。ある日突然宝くじを引いて当たったわけじゃない。いろんな経験を大切にしてい
くとそれが将来花開く。」
そう言いたいですね」



ルイ・パスツール
(1822～1895)
フランスの生化学者、細菌学者。コレラワチンなどを発明。